

那珂川市図書館

オススメの1冊

『古くてあたらしい仕事』

島田 潤一郎／著 新潮社 一般書【023 シマ】

「夏葉社^{なつはしや}」という出版社がある。従業員は1人、著者の島田潤一郎さんだ。

島田さんは33歳の時、たった1人で出版社を立ち上げた。復刊という出版方法で、むかしの作家の作品をあたらしく甦らせる、それが島田さんの仕事だ。「ぼくが欲しくなるような本をつくる」という言葉どおり装丁、巻末エッセイにまでこだわり、尊敬する作家やデザイナーに誠心誠意お願いをする。そのためには、時間も出費も惜しまない。それは大量生産とは対極にあり、ベストセラーや多くの利益を生むものではないが、確実に誰かの心に届く特別な1冊となる。

つくった本を本屋に置いてもらうことも島田さんの仕事だ。その際も「ビジネスの相手というよりも友人同士の話。嘘をつかない。裏切らない。自分だけが得をしようとは考えない」という。

その丁寧で誠実な仕事の仕方はどの職業にも通じるものがある。もともと作家志望だったという島田さんの文章は心にスッと入ってきて、自分自身の仕事の仕方を何度も考えずにはいられなくなる。息子さんに伝えたいことを書いたという「夏葉社^{なつはしや}」10年の軌跡。

「この仕事が大好きだ。」と言い切る潔さと志の高さに清々しさを覚えた1冊。

那珂川市図書館司書（ラベンダー）